

山梨大学医学部附属病院 [地域医療連携だより]

パートナー

2025
vol.24

令和7年8月発行

[特集] 診療科・部門のご紹介

神経内科／病理部／形成外科／新生児集中治療部



光線療法中 (NICU)

山梨大学医学部附属病院 診療科・部門のご紹介

神経内科

Neurology

脳神経内科疾患は、脳卒中、認知症、変性疾患等、多岐にわたります。当神経内科では、脳卒中急性期の患者さんを積極的に受け入れ、血栓溶解療法や血栓回収療法に尽力するとともに、脳梗塞の病型診断および再発予防に注力しています。また、当院や近隣の医療機関で加療された脳梗塞の患者さんの原因を解明すべく、循環器内科と連携して経食道心エコー検査を実施しており、2022年1月からこれまでに約120例を施行しました。ブレインハートチームカンファレンスでは、最先端の薬物治療法について討議し、カテーテルによる卵円孔開存閉鎖術、左心耳閉鎖術等のデバイス治療に繋げております。

ウェアリング・オフ現象が出現した進行期パーキンソン病に対しては、レボドパの経腸用液療法や、ホスレボドパ・ホスカルビドパ持続皮下注療法を積極的に導入しています。また、ニューロリハビリテーションが神経可塑性をもたらすメカニズムを解明

するため、脳MRIや患者さんから採取した血液サンプルを用いた臨床研究を実施しています。認知症診療においては、メモリークリニックを中心に近隣の医療機関と連携し、アルツハイマー病に対する抗アミロイドβ抗体療法を積極的に進めています。筋萎縮性側索硬化症については、2024年度に16名の入院診療を行いました。

山梨県内における脳神経内科診療の中核病院として、最善の治療、患者さんに寄り添ったオーダーメイドの診療、患者さんにとって納得がいく治療ができるよう日々励んでいます。



病理部

Department of Pathology

病理部は、手術や内視鏡などで採取された組織や細胞を顕微鏡で観察し、病気の診断を行う中央診療部門です。各診療科から提出されるさまざまな臓器の検体に対して、病理標本の作製、組織・細胞診断、術中迅速診断な

どを行っています。がんをはじめとする多くの疾患において、確定診断や治療方針の決定には、病理診断が不可欠です。

近年はゲノム医療の進展により、分子病理や遺伝子検査の技術が大きく発展し、患者さん一人ひとりに最適な治療の選択が求められるようになりました。それに伴い、病理部の担う役割もますます重要になっています。当院は、がんゲノム医療連携病院として、院内外の多くの患者さんに対し、がん遺伝子パネル検査(CGP)を実施しています。これらの遺伝子検査の多くでは、ホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE)検体が用いられており、その品質は診断の精度に直結します。そのため、高品質な病理標本の作製は、ゲノム医療を支えるうえで重要な病理部業務の一つとなりました。

私たち病理部は、病理標本の品質向上と安定した維持、さらに精度の高い病理診断に日々努め、“縁の下の力持ち”として、当院の医療をしっかりと支えてまいります。



形成外科

Plastic, Reconstructive
and
Aesthetic Surgery

身体組織の変形・欠損・醜状といった機能的・整容的障害に対し、あらゆる手法を駆使して改善を目指す——それが、われわれ形成外科の使命です。当科は形成外科医10

名のうち、日本形成外科学会認定専門医が6名在籍する、形成外科では県内で最大の診療機関です。

当科で取り扱う疾患は多岐にわたり、陈旧性顔面神経麻痺や眼瞼下垂、小児の先天異常、ケロイド、癬痕拘縮、顔面骨折や手指外傷、難治性潰瘍などがあります。新生児から高齢者まで年代を問わず、頭のとっぺんから手足の先まで、体表面を中心としたあらゆる部位の診療にあたっています。

なかでも当科は、国内でも数少ない日本GI(性別不合)学会認定施設の一つとして、日本各地から患者さんを受け入れています。性別不合(性同一性障害)の分野では、手術件数・研究実績ともに国内トップクラスで、2023年3月には同学会の研究大会を主催するなど、

全国をリードする立場にあります。

また、特定機能病院における形成外科として、他診療科と連携しながら、頭頸部がんや乳がん、軟部悪性腫瘍といった腫瘍切除後の再建手術にも積極的に取り組んでいます。さらに近年では、美容外科の術後トラブルに関する相談も増えており、時代の要請に応じた適正な医療の提供に努めています。

私たちは治療を通じ、患者さんがよりよい生活を送り、笑顔で社会生活に参加できることを目標にしています。みなさんの生活の質(QOL)の向上に貢献すべく、形成外科一同診療に励んでまいります。



新生児 集中治療部

Neonatal Intensive Care Unit/
Growing Care Unit

新生児集中治療部(NICU)は、2011年4月に山梨県の地域周産期母子医療センターとして開設して以来、県内の新生児に対し、高度で安心できる医療を提供してまいりました。NICUとGCU(新生児治療回復室)を併設し、小児外科や心臓血管外科をはじめとする多職種が緊密に連携しながら、急性期から成長支援期に至るまで、切れ目のない医療を心がけています。

特に、県内で唯一、先天性心疾患や腫瘍性疾患にも対応できる施設として、他院からの搬送にも積極的に対



応しています。このほか、在胎32週以降の早産児や低出生体重児、新生児特有の呼吸障害、感染症、小児外科疾患など、幅広い新生児疾患を対象としています。また、退院後のご家庭でのケアを支援するための体制を整え、継続的なサポートを行っています。

これからも地域の皆さまとともに歩み、温かい新生児医療を届けてまいります。

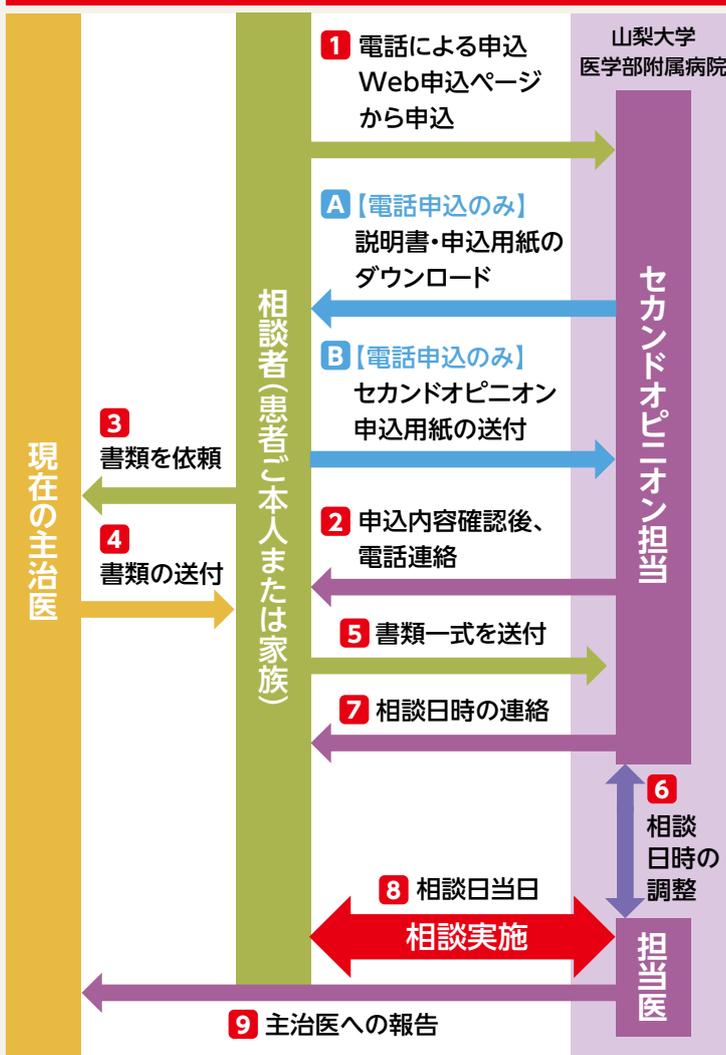
セミナー・講演会等のお知らせ				対象：医療従事者
開催名	主催	開催日	開催場所	お問合せ先 (内線番号)
第29回 山梨医学フォーラム	山梨大学医学部、山梨大学医師会 山梨大学医学会	2025年10月8日	山梨大学医学部 臨床小講堂	内線 6061
第120回 日本泌尿器科学会山梨地方会	山梨大学医学部泌尿器科学講座	2025年10月11日	オンライン シャトレーゼホテル 談露館	内線 2367
第30回 山梨大学整形外科セミナー	山梨大学整形外科科学講座	2025年10月18日	アピオ甲府	内線 2348

※上記セミナー・講演会へのお問合せは TEL:055-273-1111 (代表)へお掛けのうえ、お問合せ先の内線番号をお伝えください。

「セカンドオピニオン外来」について

当院では、他の医療機関で診療を受けている患者さんを対象に、現在の診断や治療内容について当院の専門医が意見や判断を提供し、患者さんが今後の治療方針を検討される際の参考にしていただくことを目的とした「セカンドオピニオン外来」を行っております。

セカンドオピニオンの手順



◎相談時間・料金

- 原則として、お一人1時間以内です。
- 費用は1診療科1回につき33,000円(税込)です。
- 全額自費診療となり、健康保険は適用されません。

◎予約について(完全予約制)

WEBまたはお電話にてご予約ください。

◆WEBからの予約

<https://www.hosp.yamanashi.ac.jp/outpatients/7850/>



◆電話からの予約

※別途申込用紙の送付が必要です。

TEL:(患者さん専用ダイヤル)0570-09-3111

※ガイダンス番号

「1.予約、受診」→「3.初めて受診の方」にてご連絡ください。

<医療機関からの予約>

TEL:(地域医療連携室)055-273-9815

詳しくは、当院ホームページをご覧ください。

セカンドオピニオン外来について

<https://www.hosp.yamanashi.ac.jp/outpatients/201/>